

(医)ひろせ中央クリニック

宮城県仙台市青葉区落合2-4-12

TEL.022-391-0755

http://www.myclinic.ne.jp/p911348/pc/

対談 理事長・院長 ドラディション・プロレスリング
岩崎 剛一 × 藤波 辰爾



患者さんの目を見ながら——外科第一線を退き、地域医療のために十年



藤波 ひろせ中央クリニックの岩崎院長にお話を伺います。開院から今年で節目の十周年とのことですが、これまでを振り返ってのご感想は。

岩崎 私は新潟大学医学部を卒業し、東京通信病院を経て東北大学第一外科に入局。その後は各地の病院で勤務し、十年前に前任者から引き継ぐ形でひろせ中央クリニックの院長となりました。現在は内科・小児科・皮膚科・外科・リハビリテーション科を掲げ、予防に重点を置いたプライマリケアを提唱しながら幅広い分野の治療に当たっています。

藤波 外科医として第一線で活躍された後に、地域の医院におさまることに抵抗はなかったのですか。

岩崎 当時は外科手術に重きを置いていたこともあり、メスを置くことについては躊躇しました。しかし、今となつては当初幼かった子供さんが

中高生になって診察に訪れる姿を見て、大きくなったとしみじみ感じたり、地域の方々との流れを同じくできて良かったと思つています。当時、外科専門だった私も今では診察できない分野はありません。地域の患者さんは自分が具合が悪い時、一体どの専門科に行つたらいいのか分からないことが多いのです。だからこそ、まずは当院で診

察して差し上げ、更に専門治療が必要なケースについては総合病院を紹介するなど、領域を明確にしながら力を尽くしていくことが、私の使命だと認識しています。

藤波 開業当時から貫いているコンセプトはありますか。

岩崎 当クリニックの患者さんは赤ちゃんから九十歳代の高齢者まで何世代にもわたりますが、身体の不調はできるだけ早い段階で察知し、適切な治療を行なうことが最大の目標です。そのコンセプトは開業当時から変わりません。

藤波 最近は医療ドラマが数多く放映され、一般の人も医療の専門知識が身近になりましたが、院長はこのようなドラマをご覧になることがありますか。

岩崎 『白い巨塔』や『ドクターX』はよく見ていました(笑)。勤務医時代、

外科が専門でしたのでドラマで手術のシーンなどが放映されるたびに自分の体験と重なり、懐かしいような、再び手術の現場に戻りたいような気持ち湧き起こったりもしましたね(笑)。ただ、今は私に診てもらいたいと通院して下さる患者さんが大勢いらっしゃるのですから、地域の方々と共にあることに感謝しています。

野にも電子カルテが導入され、場合によってはドクターもパソコンの画面を向いたままお話になりますが、患者さんによってはその姿に不安を抱いてしまうかも知れないと危惧しています。

藤波 開院十年ですが、これからの十年のためにどう行動されますか。

岩崎 院長が診療で大切にしている姿勢はありますか。

岩崎 患者さんと接する時に最も大切にしているのはコミュニケーションです。お互いの理解が深まっただけで患者さんの症状や飲んでもらいたい薬について、ボードを使いながら目を見て分かりやすく説明することを中心としています。OA化で医療分

藤波 今後の更なるご貢献を願っています。

① INFORMATION

院長に掛かりたい患者さんであふれる待合

